

# 12月1日 2013(平成25年) 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

誕生祝福式

-----

司 会 : 赤塚敏郎 兄  
 奏 楽 : 小島明美 姉  
 おいのり : 赤塚孝子 姉  
 さんび : 新聖歌 79 (天には栄え) 1・2・3 節  
 使徒信条  
 聖 書 : ガラテヤ人への手紙4章4～7節 (P.297)  
 (朗読: 下岡晶子姉)

音 楽 : 倉知 契牧師  
 メッセージ : 「 相続人になるチャンス到来 」 倉知 契牧師

さんび と 献金 : ♪ 明日はどんな日か  
 頌 栄 : ♪ 新聖歌 63 「父 御子 御霊の」  
 祝 禱  
 報 告

-----

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 本日午後から、クリスマスの聖歌隊の練習あり(13:30～1時間)。  
花は咲くプロジェクトの方にも再度お声掛けください。
- ◇ 12月14日(土)ジョイキッズのためにチラシ配り募集中。地域の子供へ！
- ◇ 12月22日(日)23日(月・祝)はクリスマスのお祝い+コンサート。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！  
木曜10時半 / 土曜掃除10時半・祈禱会11時15分
- ◇ 宿題(祝大)で聖書の楽しさを体験しましょう！  
Aコース: I ペテロ1章～II ペテロ2章 Bコース: エゼキエル32章～44章

◇次聖日礼拝奉仕者 (2013年12月8日) [聖餐式]  
 [司会: 小木秀夫兄、いのり: 下岡晶子姉、聖書朗読: 大神久美姉]  
 [ピアノ: 片岡立子姉、賛美リード: 大神 雄兄 ]  
 [アシスト: 加藤由美子姉 & 大神美乃姉]  
 [献金: 赤塚孝子姉、受付: 加藤和代姉]  
 ◇PA: 平松章治兄                      ◇週報編集: 片岡洋一兄  
 ◇ホームページ編集: 大神真伸兄      ◇日曜学校: 大神 雄兄



今日からアドベント(待降節)。クリスマスまで4週間にわたって、イエス様が降誕されるのを待ち望む期間です。私の育った品川教会では、講壇に4本の真っ赤なろうそくが立ち並び、毎週一本ずつ火が灯されました。アドベント・カレンダーも有名です。毎日扉を開いて期待に胸を膨らませます。子どもであればサンタさんに手紙を書いてプレゼントのおねだりする時期ですね。今年はどうなクリスマスになるでしょう。皆様それぞれのアイデアで楽しみながら待ち望みましょう。

少し前のEテレ「スーパー・プレゼンテーション」という番組で、「雲を愛でる会(Cloud Appreciation Society)」を設立したギャビンさんというイギリス人のお話がありました。雲というと、太陽や青空を妨げるもの、ちょっとどんより暗いイメージを持つ人が多いけれど、雲を見上げることは心に安らぎを与えるのですよという内容でした。「誰でも子どもの頃に雲の形を見ながら、いろいろ空想したようにもっと空を見上げてみてください。今では大量に来るメールへの返信とか、フェイスブックのページの更新とか、ツイッターの発信など、やることだらけ。そこで雲ウォッチングは何もしないことを正当化してくれる。誰だってたまには…たまには休む理由が要るのです」とか。

私も雲は大好き。歌のグループの名前を Cloud By Day (昼は雲のうちにあって～申命記1章3節からとられているのを知っていましたか?) と名付けたくらいです。聖書の中で雲は神様のご臨在、また栄光を表わします。ソロモン王が神殿を建て上げ、礼拝を捧げた時に、『雲はその宮すなわち主の宮に満ちた。祭司たちは雲のゆえに立って勤めをすることができなかつた。主の栄光が神の宮に満ちたからである。』(歴代志下5の13～14)とあります。礼拝の中でちょっと上の方を見上げてみてください。栄光の雲が現れるかもしれません！

12月は「師走」と言って、急ぎ走り回るバタバタとした時期ですが、少し余裕をもって空を見上げ、ぼんやり雲を見ながら、神様のご愛に浸るのはいかがでしょう。生かされていること、愛されていることを堪能するアドベントとなりますように。

「子供であるからには、神様の持つておられるものはすべて私たちのものです。それが神様の計画だからです。」  
(ガラテヤ4の7LB)